



久しぶりのボランティア活動

院長 梶川大介

緊急事態宣言発令前、ボランティア活動に参加するために熊本県人吉市に行って来ました。
九州豪雨災害から1年。。。
新型コロナウイルス感染症の影響でボランティアの受け入れもなかなか困難な状況です。
事前のPCR検査と当日の抗原検査で陰性が確認できれば、活動に参加が認められるとのこと。
受け入れの目処が立ち、3年前の西日本豪雨災害（倉敷市真備町）で活動を共にしため組ジャパン
（植林・間伐、災害支援活動を行うNPO法人）の仲間たちと久しぶりに合流です。

今までの活動内容は、家屋の壁や床剥ぎ・ブラッシング・床打ちなどでしたが、今回は農地に埋まった瓦礫などの撤去作業を行うこと。
災害により亡くなられた専業農家のご遺族より「農業を守ってください」という思いを受け継いだ農家の方ともお話をすることが出来ました。悲しい出来事があったこの場所だけど、この農家さんがイメージされてる「自然栽培による安心安全な農業」が実現するよう願っています。
熊手でひたすら土をかき分けながら、プラスチック類・ガラス片・鉄クズ・草木などの仕分けを黙々と行います。コツコツするこの手の作業は好きな方です。

この地域しか見てませんが、復興にはまだまだ遠いと感じました。新築がポツポツあると思えば、1階2階ともに窓が開けっ放しで放置された家屋があったり、解体作業中の家屋、仮設と思われる画一的な住宅地域もあったり。。。コロナの影響でマンパワーが、やはり足りません。
め組ジャパンの活動は、皆様のご支援により成り立っています。
もし宜しければ、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。
【め組ジャパン メイクハッピー】で検索



親切・丁寧・笑顔がモットー

梶川眼科医院 情報誌 （年4回季刊発行）

瞳きらきら通信

TEL 078-732-0091 兵庫県神戸市須磨区前池町3-4-1

2021
秋
vol.42



院長ごあいさつ

東京パラリンピック2020最終日、陸上女子マラソン（視覚障害T12）で道下美里さんが金メダルを獲得！！
道下さんは、角膜の難病で中学2年生の時に右目の視力を失い、さらに左目も光が解る程度まで視力が低下したそうです。視覚から得られる情報は90%ともいわれています。道下さんのまさに目となり、縁の下の力持ちに徹した志田淳さん「伴走者」の存在が欠かせません。ランナーとしての力量もさすがです。
安心して走れるように安全を確保、走路・ペースなどの誘導と楽しく楽に走れるようなエスコート、給水の補助などが伴走者の仕事です。



院長 梶川大介

皆さんお気づきだと思いますが、視覚障害者マラソンでは、選手と伴走者の2人で「絆」と呼ばれている1本のロープを握って併走します。声かけは勿論のこと、このロープが心の「絆」となります。インタビューで「見えているかのように走らせて貰える幸せ」と最幸の笑顔で仰ってられたのがとても印象的でした。仲間への感謝の気持ちも素敵です。この5年間、チーム道下の仲間は何だけの努力をしてきたのだろう。身長144センチという小さな身体で3時間0分50秒で走り切り、世界記録を2度も更新するなんて、本当に凄いといしか言いようがありません。

5年前の忘れ物を取りに行けて本当に良かったですね。
道下美里さん、チーム道下、金メダルおめでとうございます。

コラム数珠つなぎ



今回は、診療助手・田野がお届けします！

先月から小学6年生の娘とHIP・HOP(ヒップホップ)を習い始めました。
前半の30分はストレッチで体をほぐし、後半の30分はHIP・HOPミュージックに合わせてダンスを踊ります。2人共全くの初心者で上手く踊れるか不安でしたが、随分体も動く様になりレッスンが楽しみになりました。

上は50代の男性から下はうちの娘(12歳)までが一緒になって大きなミラーの前でおもいきりダンスをしています(笑笑)。
勿論レッスンはマスク着用であったり、入室制限や時間制限も含めて沢山の規制がある中ですが、コロナ禍で思う様に出掛けられず運動不足やストレスで大変な時期なので出来る範囲でこれからも楽しみたいと思います。



大阪・池田市の五月山動物園

受付:西山



大阪・池田市は五月山（標高315m）にある五月山公園と併設されている動物園があります。阪急電車池田駅から徒歩15分ほど市街を見下ろす五月山の中腹にその「五月山動物園」があります。ここでは、日本国内で6頭しか飼育されていない希少な動物のウオンバットを4頭も見ることが出来ます。ウオンバットは、つぶらな瞳に大きな鼻、しかも短い四肢で丸っこい体系でうごきは俊敏です。可愛い～です。

しかも、この「五月山動物園」は入場料が無料なんです！

小さい子供さんが大好きな、ウサギやモルモットなどの動物がいる「ふれあい広場」があり、動物を身近に感じることが出来ます。お時間があればぜひ足を運んでみてください。

きっと癒されますよ～

※コロナ禍でふれあい広場などが中止となっている所が

あるかもしれませんので ご確認くださいね。



土曜日の戸田先生をご紹介します！



★動物に例えると？：アルパカ（友人に言わせると首が長いかららしいです！）

★好きな言葉は？：ありがとう！！

★最近1ヶ月で楽しかったことは？：

子供が下宿から帰ってきて楽しい学生生活の話をたくさん聞いたこと

★仕事をする上で意識していることは？：楽しく明るく仕事をする

★最後に患者様へ一言：

患者さんにとてもやさしいクリニックだと思いますので安心して受診して頂けると幸いです！

うちのコンサルタント来丸さん！



この度、瞳きらきら通信編集スタッフより依頼を受けて寄稿いたします
インクメディカルコンサルティングの来丸（くるまる）と申します。

医院経営コンサルタントとして月1回、梶川眼科医院さまにお邪魔しています。

「人がその人らしく輝き、人と人が思いやりで繋がる世界を広げたい…」そんな志をもって、コンサルタントとして独立して15年が経ちます。ありがたいことに、たくさんの医院さんからお声がけいただき、今では大阪を起点に日本全国の医療機関に飛びまわっています。東京、福岡、愛知などの都市部はもちろん、佐賀県唐津市、武雄市、島根県松江市など片道5時間かけて行くところまで。その場所・その時の景色を見るのが大好きです^^



東京スカイツリー
オリンピックカラーが綺麗でした



佐賀市内の田んぼ道。
まっすぐ続くこの道が好きです。



博多駅前のクリスマスマーケット。
ホットワインやクリスマス雑貨のお店
がかわいくおしゃれでした。



出雲空港の滑走路。
360° 視界をさえぎるものがなく
空が広い！

とてもハードな毎日だからこそ家族との時間は至福の時です^^

4人の子供達と顔を合わせる時間が少ないので、出張から戻って家の玄関を開けた時に

「パパー！」と叫んで走り寄ってくる子ども達の声聞くのが本当に癒しになっています。

そんな子ども達を抱きしめて、声をかけるだけで疲れが吹き飛びます。

そんな僕ですが、梶川眼科医院さまに出逢ってもう10年以上が経ちます。

始めて訪問した時の印象は、笑顔が素敵なスタッフさまが多く、仕事に手を抜くことなく一生懸命な方達ばかり。たちまち皆さまのファンになりました^^

そこからは、医院の理念や行動指針を作ったり、患者様アンケートをもとにみんなで議論したり…院長・スタッフが一丸となって医院を良くする様子を応援させて頂いています。

医院の裏方として見ていると、院長・スタッフみんなが本当に患者様思いなのに気づきます。

その思いが患者さまに届くように…これからもスタッフ皆様に応援できると嬉しいです。

そして、患者の皆様も今後とも梶川眼科医院の医療の質とホスピタリティの向上を温かく見守り続けて頂けると幸いです。